

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（岐阜大学・教育学部）

授業科目名	人間関係論
教員名（専門分野）	宮本 正一(教育心理学)
教員の免許状取得のための 必修・選択の区分	必修・ <u>選択</u> ・選択必修・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上 の位置づけ	高等学校教員(公民) 教科に関する科目「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」
単位数・受講者数	2単位 ・ 12名
対象課程・対象学年	<u>学部</u> ・修士・教職大学院 2年生対象
授業計画 (いじめに該当する箇所 に下線)	<p>1 週 自己紹介、講義全体の説明</p> <p>2 週 援助の動機</p> <p>3 週 援助行動</p> <p>4 週 攻撃動機</p> <p>5 週 攻撃の測定</p> <p><u>6 週 いじめ</u></p> <p>7 週 虐待</p> <p>8 週 個人と集団</p> <p>9 週 集団の影響</p> <p>10 週 社会的促進</p> <p>11 週 集団心理</p> <p>12 週 リーダーシップ</p> <p>13 週 教師のリーダーシップ</p> <p>14 週 ストレスと対処</p> <p>15 週 試験とまとめ</p>

【授業内容】

6週 いじめ

報道されたこれまでのいじめの事例を紹介し、自らのいじめ体験を披露した後、いじめをなくすためには集団と個人との関係からどうしたらよいかを検討した。

【授業内容】

第13回 ネット社会の人権

児童・生徒を対象としたネットいじめに関する調査結果を示しながら、ネットいじめの現状を確認した上で、ネットいじめの事例を収録した動画を閲覧し、もし教員であったらどのように対応すべきかを考えさせ、最後に情報モラル教育の必要性と、この教育を推進するために教員にとって必要な知識や技能について学ぶ。

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（岐阜大学・教育学部）

授業科目名	教育臨床心理学
教員名（専門分野）	緒賀郷志・別府哲（心理学）
教員の免許状取得のための必修・選択の区分	<input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 選択・ <input type="checkbox"/> 選択必修・その他（ <input type="checkbox"/> ）
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	教育相談の理論と方法に関する科目
単位数・受講者数	2単位 ・ 250名（2クラス合計）
対象課程・対象学年	<input type="checkbox"/> 学部・ <input type="checkbox"/> 修士・ <input type="checkbox"/> 教職大学院 3年生対象
授業計画 （いじめに該当する箇所 に下線）	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の意義と目的 ・カウンセリングの諸理論と方法 ・学童期・思春期の心身の発達 ・不登校・<u>いじめの理解と対応</u> ・精神障害に対する理解と対応 ・軽度発達障害児（LD, AD HD, 高機能自閉症など）の理解と対応 ・問題行動に対しての関係諸機関との連携

【授業内容】

第7回目授業単元にて，学校カウンセリングの1事例として，ビデオ教材を上映。(約15分)

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（静岡大学教育学部）

授業科目名	教育実践学理論研究
教員名（専門分野）	梅澤 収（教育行政学）
教員の免許状取得のための必修・選択の区分	必修・選択・選択必修・ <u>その他</u> （教育実践学専修必修）
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	特になし（教育実践学専修の理論的入門として位置づけ）
単位数・受講者数	2単位 ・ 13名
対象課程・対象学年	<u>学部</u> ・修士・教職大学院 1年生対象
授業計画 （いじめに該当する箇所 に下線）	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、本授業のねらいと方法 2. 「学歴社会」問題を考える（その1：現状と課題、意見文の作成） 3. 「学歴社会」問題を考える（その2：グループ討議） 4. 「学歴社会」問題を考える（その3：全体のまとめ、現代社会における学校） 5. 「早期教育」問題を考える（その1：現状と課題、意見文の作成） 6. 「早期教育」問題を考える（その2：グループ討議） 7. 「早期教育」問題を考える（その3：全体のまとめ、子どもの発達と教育） <u>8. 「いじめ」問題を考える（その1：現状と課題、意見文の作成）</u> <u>9. 「いじめ」問題を考える（その2：グループ討議）</u> <u>10. 「いじめ」問題を考える（その3：全体のまとめ、現代の子ども集団）</u> 11. 「不登校」問題を考える（その1：現状と課題） 12. 「不登校」問題を考える（その2：グループ討議） 13. 「不登校」問題を考える（その3：全体のまとめ、現代の子どもの心） 14. 「学校における学習」問題を考える（その1：現状と課題） 15. 「学校における学習」問題を考える（その2：今後の課題）

【授業内容】

第8回「いじめ」問題を考える（その1：現状と課題、意見文の作成）

- ①「いじめ」問題の概要講義（60分）
- ②「いじめ」等の体験及び自己の考えに関するワークシートの記入（30分）

第9回「いじめ」問題を考える（その2：グループ討議）

- ①「いじめ問題ワークシート」に基づくグループ討論（80分）
 - ・4人～5人のグループ編成。
 - ・司会者と記録者を決めて、司会の進行を進める。
なお、主な議論の流れを記録者が討論シートにまとめる。
 - ・一人ずつ5分～7分で、自己の体験と考えを述べる。
 - ・その後、司会が論点を設定して、討論を進める。
 - ・最後の10分は、グループごとに討論のまとめを行う。

第10回「いじめ」問題を考える（その3：全体のまとめ、現代の子ども集団）

- ①前回の各グループの討論の概要を、司会者に報告してもらう。
(講師のコメント含めて20分)
- ②講師等への質問事項を、各自2つ、黒板に書いてもらう。(5分)
- ③質問事項への回答(30分)
- ④講師からのまとめ
*「いじめ問題」を、1. 現代社会や現代の人間の在り方と関わらせて捉えること、2. 学級集団や子どもの人間関係（現代の子ども集団）を、教師としてどう構築していくかという視点で捉えること、3. 教師の実践として重要な課題の1つであること等を確認してもらうこと、をまとめとする。

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（愛知教育大学・教育学部）

授業科目名	教育実践論演習
教員名（専門分野）	藤井 啓之（教育学）
教員の免許状取得のための 必修・選択の区分	必修・ <u>選択</u> ・選択必修・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上 の位置づけ	_____
単位数・受講者数	2単位 ・ 12名
対象課程・対象学年	<u>学部</u> ・修士・教職大学院 3年生対象
授業計画 (いじめに該当する箇所 に下線)	<p>第1回：オリエンテーション (概要、授業の進め方、テキスト、分担等についての説明)</p> <p>第2回：年度当初の小学校における学級づくりの課題について</p> <p>第3回：年度当初の中学校の学級づくりの課題について</p> <p>第4回：子どもの声を聴くことについて—小学校の実践から</p> <p>第5回：子どもの声を聴くことについて—中学校の実践から</p> <p>第6回：友だちや社会とつながる実践—小学校</p> <p>第7回：友だちや社会とつながる実践—中学校</p> <p>第8回：学びと学級づくりの関係について—小学校</p> <p>第9回：学びと学級づくりの関係について—中学校</p> <p>第10回：発達障害の子どもとともに育つ学級—小学校</p> <p>第11回：発達障害の子どもとともに育つ学級—中学校</p> <p><u>第12回：いじめ問題と学級づくり—小学校</u></p> <p><u>第13回：いじめ問題と学級づくり—中学校</u></p> <p>第14回：学校行事を通じた学級の成長—小学校</p> <p>第15回：学校行事を通じた学級の成長—中学校</p>

【授業内容】

(第12回：いじめ問題と学級づくり—小学校)

小学校の学級づくりの年間を見通しながら、学級づくりにかかわる教育実践記録を選定し、それを読んだ上で、現代の子どもたちの特徴を掴み、教師の優れた働きかけや、取り組みの問題点を議論している。

いじめに関わっては、一つ実践を読んで議論することになっている。

(第13回：いじめ問題と学級づくり—中学校)

中学校の学級づくりの年間を見通しながら、学級づくりにかかわる教育実践記録を選定し、それを読んだ上で、現代の子どもたちの特徴を掴み、教師の優れた働きかけや、取り組みの問題点を議論している。

いじめに関わっては、一つ実践を読んで議論することになっている。

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（愛知教育大学・教育学部）

授業科目名	生活の指導と相談B
教員名（専門分野）	小関 俊祐（臨床心理学 / 認知行動療法）
教員の免許状取得のための必修・選択の区分	<u>必修</u> ・選択・選択必修・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法
単位数・受講者数	2単位 ・ 60名
対象課程・対象学年	<u>学部</u> ・修士・教職大学院 4年生対象
授業計画 （いじめに該当する箇所 に下線）	<p>第1回：発達という視点からのこころの理解</p> <p>第2回：心理学的発達の道すじ</p> <p>第3回：臨床心理学的成長</p> <p>第4回：学級集団から見た心の理解</p> <p>第5回：学級集団における心の発達</p> <p>第6回：心の発達から見た適応</p> <p>第7回：適応という視点からの心の理解</p> <p>第8回：教育相談という視点からの心の理解</p> <p>第9回：園児・児童・生徒の心理学的理解と相談の実際</p> <p>第10回：心の発達から見た幼稚園での教育相談</p> <p>第11回：心の発達から見た小学校での教育相談</p> <p>第12回：心の発達から見た中学校での教育相談</p> <p><u>第13回：教育相談の実際</u></p> <p>第14回：心の発達から見た生徒指導・進路指導</p> <p>第15回：これからの学校現場における課題と対応</p>

【授業内容】

(第13回 教育相談の実際)

いじめの問題を行動分析の観点から理解し、「遂行者 (いじめる者)」、「被遂行者 (いじめられる者)」、「傍観者 (いじめを見ている者)」のそれぞれの立場における行動の理解と対応について、事例を紹介しつつ、検討している。対応策の検討にあたっては、グループワークを行って、アセスメントの観点や対応方針の立案方法について、受講生が気づくための支援を行っている。

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（愛知教育大学・教育学部）

授業科目名	臨床心理学
教員名（専門分野）	小関 俊祐（臨床心理学／認知行動療法）
教員の免許状取得のための必修・選択の区分	必修・ <u>選択</u> ・選択必修・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	教科又は教職に関する科目
単位数・受講者数	2単位 ・ 80名
対象課程・対象学年	<u>学部</u> ・修士・教職大学院 3・4年生対象
授業計画 （いじめに該当する箇所 に下線）	<p>第1回： ガイダンス，臨床心理学の基礎</p> <p>第2回： 臨床心理学の基本的考え方</p> <p>第3回： 臨床心理学におけるアセスメント</p> <p>第4回： 臨床心理面接の進め方</p> <p>第5回： 臨床心理学の対象（乳幼児期，学童期，思春期）</p> <p>第6回： 臨床心理学の対象（青年期，成人期，中年期，老年期）</p> <p>第7回： 個人に対する臨床心理学的アプローチ</p> <p>第8回： 家族に対する臨床心理学的アプローチ</p> <p>第9回： <u>学校に対する臨床心理学的アプローチ</u></p> <p>第10回： 職場に対する臨床心理学的アプローチ</p> <p>第11回： 地域に対する臨床心理学的アプローチ</p> <p>第12回： 学校教育臨床の特徴と課題</p> <p>第13回： 認知行動療法と子どもの学校適応</p> <p>第14回： 発達障害をもつ児童生徒への対応</p> <p>第15回： 臨床心理学と健康心理学</p>

【授業内容】

(第9回：学校に対する臨床心理学的アプローチ)

いじめの問題を、予防的介入と危機介入に分けて、それぞれの具体的方法について紹介している。予防的介入としては、社会的スキル訓練や問題解決訓練、認知的再体制化などの方法の有効性について紹介し、学級集団を対象として、これらの介入を行う際の方法と工夫点、留意点などについて、説明を行っている。また、危機介入としては、個別介入と集団介入の必要性を示し、アセスメントと介入方法を結び付けるための留意点を紹介し、事例をあげて説明をしながら、問題の発生から対応までの理解の観点を示している。

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（愛知教育大学・教育学部）

授業科目名	臨床心理学演習
教員名（専門分野）	小関 俊祐（臨床心理学／認知行動療法）
教員の免許状取得のための必修・選択の区分	必修・ 選択 ・選択必修・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	教科に関する科目：（公民）「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
単位数・受講者数	2単位 ・ 10名
対象課程・対象学年	学部 ・修士・教職大学院 3年生対象
授業計画 （いじめに該当する箇所 に下線）	<p>第1回：臨床心理学の理論的背景と実際</p> <p>第2回：臨床心理学におけるカウンセリング技能</p> <p>第3回：臨床心理学におけるアセスメント技能</p> <p>第4回：臨床心理学における介入技法 （社会的スキル訓練を中心に）</p> <p>第5回：臨床心理学における介入技法 （認知的心理教育を中心に）</p> <p>第6回：認知行動療法に基づく不登校の理解と支援</p> <p><u>第7回：認知行動療法に基づくいじめの問題の理解と支援</u></p> <p>第8回：認知行動療法に基づく知的な遅れを伴わない発達障害児の理解と支援</p> <p>第9回：認知行動療法に基づく知的な遅れをもつ発達障害児の理解と支援</p> <p>第10回：認知行動療法に基づく保護者対応</p> <p>第11回：認知行動療法に基づく抑うつ状態の高い児童生徒への対応</p> <p>第12回：認知行動療法に基づく不安状態の高い児童生徒への対応</p> <p>第13回：認知行動療法に基づく攻撃特性の高い児童生徒への対応</p> <p>第14回：認知行動療法に基づく教員のストレスコーピング</p> <p>第15回：臨床心理学における課題と今後の対応</p>

【授業内容】

(第7回：認知行動療法に基づくいじめの問題の理解と支援)

書籍で紹介されているいじめの事例をもとに、アセスメントから介入方針の立案，対応の予測までをシュミレーションすることで，いじめの問題の対応の観点（誰に，誰が，どのような介入を行うか）について理解をしていく。書籍で紹介されている手続きにとらわれず，また，結果としてどのような手続きが功を奏するか，という観点ではなく，問題となる行動をいかに三項随伴性に基づいて理解し，どの刺激を操作することが，行動変容に至ると期待できるかを予測するという手続きの習得に焦点をあてて，授業を実施している。

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（愛知教育大学・教育学部）

授業科目名	学校精神保健
教員名（専門分野）	五十嵐 哲也 （臨床心理学）
教員の免許状取得のための必修・選択の区分	必修・ 選択 ・選択必修・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	養護に関する科目：精神保健
単位数・受講者数	2単位 ・ 20名
対象課程・対象学年	学部 ・修士・教職大学院 4年生対象
授業計画 （いじめに該当する箇所 に下線）	<p>第1回：学校精神保健の特質と現代的課題</p> <p>第2回：児童生徒の精神保健上の問題とその対応①不登校</p> <p>第3回：<u>児童生徒の精神保健上の問題とその対応②いじめ</u></p> <p>第4回：児童生徒の精神保健上の問題とその対応③非行</p> <p>第5回：児童生徒の精神保健上の問題とその対応④学習障害</p> <p>第6回：児童生徒の精神保健上の問題とその対応</p> <p style="padding-left: 2em;">⑤注意欠陥・多動性障害</p> <p>第7回：児童生徒の精神保健上の問題とその対応</p> <p style="padding-left: 2em;">⑥自閉症スペクトラム</p> <p>第8回：児童生徒の精神保健上の問題とその対応⑦心身症</p> <p>第9回：児童生徒の精神保健上の問題とその対応⑧摂食障害</p> <p>第10回：児童生徒の精神保健上の問題とその対応⑨児童虐待</p> <p>第11回：児童生徒の精神保健上の問題とその対応⑩自傷と自殺</p> <p>第12回：学校精神保健に特徴的な介入方法①コンサルテーション</p> <p>第13回：学校精神保健に特徴的な介入方法②チーム支援</p> <p>第14回：学校精神保健に特徴的な介入方法③心理教育</p> <p>第15回：学校精神保健に特徴的な介入方法④緊急支援</p> <p>第16回：まとめ</p>

【授業内容】

(第3回：児童生徒の精神保健上の問題とその対応②いじめ)

「いじめ」について、その実態と、文部科学省による定義を示し、さらに加害者・被害者等の心理を解説している。また、いじめによる被害者への影響についてと、いじめの経過（孤立化・無力化・透明化）について講義し、いじめを早期に発見し、対応する重要性を説明している。その上で、教員の立場から、いじめを早期に発見するポイントはどのようなものか（授業場面や休み時間の様子、朝の様子、保健室での様子、家庭での様子、など）を示している。さらに、それぞれの経過に合わせた対処法を指摘して、どのような段階で発見しても、対処が可能なポイントを示している。加えて、いじめの構造（加害者・被害者・傍観者・観衆）を理解させ、学級の中でいじめが蔓延化していく「集団力動」を講義している。その上で、いじめをなくしていくために、そしていじめを予防するためには、いかなる学級経営が必要かを説き、加害者・被害者・傍観者・観衆のそれぞれに対する指導の仕方とポイントを解説している。また、被害者や加害者の家庭と連携して支援をしていく際のポイントも解説している。以上を踏まえ、養護教諭として保健室からできる支援は何かを考えさせている。

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（三重大学・教育学部）

授業科目名	教育臨床Ⅱ
教員名（専門分野）	瀬戸 美奈子（発達臨床心理学）
教員の免許状取得のための必修・選択の区分	必修・選択・ <u>選択必修</u> ・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	生徒指導・教育相談・進路指導
単位数・受講者数	2単位 ・ 50名
対象課程・対象学年	<u>学部</u> ・修士・教職大学院 1～4年生対象
授業計画 (いじめに該当する箇所 に下線)	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校における子どもの諸問題 2 生徒指導と教育相談 3 進路指導と教育相談 4 学習指導と教育相談 5 児童生徒の発達と問題(1)幼児期から児童期へ 6 児童生徒の発達と問題(2)児童期 7 児童生徒の発達と問題(3)青年期 8 教育相談における子どもへのかかわり(1)アセスメント 9 教育相談における子どもへのかかわり(2)カウンセリング技法 10 教育相談の実際(1)不登校 11 <u>教育相談の実際(2)いじめ</u> 12 教育相談の実際(3)発達障害 13 事例研究(1)小学校の事例 14 事例研究(2)中学校の事例 15 保護者・教師への助言と指導 16 テスト

【授業内容】

いじめの事例, いじめに関する子どもの人間関係について

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（三重大学・教育学部）

授業科目名	教育臨床 I
教員名（専門分野）	岡田 珠江（学校臨床心理学）
教員の免許状取得のための必修・選択の区分	必修・選択・ <u>選択必修</u> ・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	生徒指導・教育相談・進路指導
単位数・受講者数	2 単位 ・ 50 名
対象課程・対象学年	<u>学部</u> ・修士・教職大学院 1～4 年生対象
授業計画 (いじめに該当する箇所 に下線)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育臨床とは何か 2. 教師とカウンセラーが行うカウンセリングの共通点と相違点 1 3. 教師とカウンセラーが行うカウンセリングの共通点と相違点 2 4. 教師によるカウンセリング子どもとの個別面談 5. スクールカウンセラーによるカウンセリングの実際 6. 相談機関でのカウンセリングの実際 7. <u>学校における課題①いじめ 1</u> 8. <u>学校における課題①いじめ 2</u> 9. 学校における課題②不登校 10. 学校における課題③虐待 11. 学校における課題④特別支援 12. 学校における課題⑤心を育むための教育 1 13. 学校における課題⑤心を育むための教育 2 14. 教師のためのストレスマネジメント 15. まとめ

【授業内容】

いじめの事例，いじめに関する子どもの人間関係，対人関係について

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（三重大学・教育学部）

授業科目名	教育行政学
教員名（専門分野）	織田 泰幸（教育行政学）
教員の免許状取得のための必修・選択の区分	必修・選択・ <u>選択必修</u> ・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	教育社会・制度・経営学
単位数・受講者数	2単位 ・ 50名
対象課程・対象学年	<u>学部</u> ・修士・教職大学院 2~4年生対象
授業計画 (いじめに該当する箇所 に下線)	01回 オリエンテーション 02回 専門職としての教師 03回 現代教育の諸問題 04回 現代の公教育制度 05回 教育法規 06回 文部科学省／教育委員会 07回 学校の組織マネジメント 08回 教員の養成と採用 09回 教師の仕事-授業- 10回 教職員の職務・服務 <u>11回 児童と生徒の管理</u> 12回 教員研修制度 13回 教育財政 14回 現代の教育行政改革の動向と課題①学校選択制度 15回 現代の教育行政改革の動向と課題②教師塾・教職大学院 16回 試験

【授業内容】

学級内のいじめについて

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（三重大学・教育学部）

授業科目名	学校カウンセリング
教員名（専門分野）	岡田 珠江（学校臨床心理学）
教員の免許状取得のための必修・選択の区分	必修・選択・ <u>選択必修</u> ・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上の位置づけ	生徒指導・教育相談・進路指導
単位数・受講者数	2単位 ・ 50名
対象課程・対象学年	<u>学部</u> ・修士・教職大学院 1～4年生対象
授業計画 (いじめに該当する箇所 に下線)	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・学校カウンセリングとは何か 2. 子ども理解の基本概念 1 3. 子ども理解の基本概念 2 4. 心理アセスメントの基本 1 5. 心理アセスメントの基本 2 6. カウンセリングの進め方 1 7. カウンセリングの進め方 2 8. カウンセリングの基本的な理論と技法 1 9. カウンセリングの基本的な理論と技法 2 10. カウンセリングの基本的な理論と技法 3 11. 開発的・予防的カウンセリング 1 12. 開発的・予防的カウンセリング 2 <u>13. コンサルテーション・コーディネーション 1</u> 14. コンサルテーション・コーディネーション 2 15. まとめ

【授業内容】

いじめについての対応，コンサルテーション，援助サービスの方法について

【授業内容】

特別なニーズのある人の教育、福祉、人権の現状と課題をとらえていく。

特に、障がいのある人たちの権利獲得の視点からの説明をする。

具体的には特別支援教育における学校の具体的な課題。特別なニーズのある人が地域で自立して生きることについて具体的に討論をとうして課題を考察していく。

I-① いじめに関する教育活動（正規のカリキュラム）

（三重大学・教育学部）

授業科目名	総合美術基礎論
教員名（専門分野）	上山 浩（美術教育教科法）
教員の免許状取得のための 必修・選択の区分	必修・ <u>選択</u> ・選択必修・その他（ ）
教育職員免許法施行規則上 の位置づけ	_____
単位数・受講者数	2単位 ・ 10名
対象課程・対象学年	<u>学部</u> ・修士・教職大学院 1年生対象
授業計画 (いじめに該当する箇所に下線)	<p>(1) 美術教育理論の視点から</p> <p>(2) 美術教育理論の視点から</p> <p>(3) 美術教育理論の視点から</p> <p>(4) デザインの視点から</p> <p>(5) デザインの視点から</p> <p>(6) デザインの視点から</p> <p>(7) 美術史の視点から</p> <p>(8) 美術史の視点から</p> <p>(9) 美術史の視点から</p> <p>(10) 美術教育の視点から</p> <p>(11) 美術教育の視点から</p> <p><u>(12) 美術教育の視点から</u></p> <p>(13) 工芸の視点から</p> <p>(14) 工芸の視点から</p> <p>(15) 工芸の視点から</p> <p>定期試験</p>

【授業内容】

オムニバス形式の授業の内の1回で、いじめ問題に真摯に向き合う教師を描いた漫画を題材として、議論を行っている。